2019/20 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区　第 4 グループ

市原ロータリークラブ会報

第 2664 回例会　2019 年 11 月 6 日（水）　SAA/ 宮武会員　会報担当 / 川島事務局員

事務局　袖ケ浦市椎の森 385 － 21 株式会社リプラス内　　例会場　淡粋

●点　鐘　篠田会長
●ソ ン グ　君が代　奉仕の理想　4 つのテスト
●お客様　諸岡ガバナー・堀口地区幹事長・時田ガバナー補佐
　　いちはらｱｰﾄ×ﾐｯｸｽ　高橋課長・泉水参事様

●会長挨拶

皆様こんにちは。
本日は、国際ロータリー第 2790 地区ガバナー公式訪問です。
2019−2020年度　国際ロータリー第2790地区　ガバナー　諸岡靖彦様、第4グループガバナー補佐　時田清次様、地区幹事長　堀口路加様、ようこそお越し頂きありがとうございます。市原ロータークラブの会員を代表してお礼を申し上げます。
先ほど、役員懇談会を11時より行いました。例会では諸岡ガバナー様より「国際ロータリーの現在とこれから」として講話を頂きます。
その後、13:40からクラブ協議会を行います。このクラブ協議会には、理事、役員、各委員長を始め会員皆様の参加を希望しますので、よろしくお願い致します。
また、本日も新しい仲間が2名増えました、新入会員の大槻祐介さんと山路妙志さんです。皆様の賛成により本日より入会いたしました。大槻祐介さん、山路妙志さんおめでとうございます。入会後はロータリーって何をする団体なのか?など、多くの疑問もあると思いますが、クラブには会員研修委員会を中心に新入会員向けの研修会を実施していますので、ゆっくりとクラブに慣れていただければと思います。後ほど、新会員入会式にて一言ご挨拶をお願い致します。来月の第一例会では、更に2名の新入会員が決まっています。年度初め52名でスタートしましたが、来月で58名となります。『一歩踏み出した!』会員増強・退会防止委員会、上野委員長ありがとうございます。
8月の会長挨拶でお話しましたが、会員増強の『増』は会員の量を増やすことであり、増強の『強』は会員の質を高めること即ち、会員の内なる人を強くする、内なる心を磨く事とあります。これにはロータリアンの教育が絶対条件であります。早速、会員研修委員長の山本会員には、今月の13日に新入会員の入会後のフォローとして、新入会員オリエンテーションを開催していただきます。今回は、白鳥会員を囲み、ロータリーについて、また市原ロータリークラブについて、理解を深める機会となればと思います。今後も会員向けの継続研修会を例会または、炉辺会談を通じて今後実施して頂きます。
話は戻りますが、本日は国際ロータリー第 2790 地区ガバナー公式訪問です。
少しでも多く諸岡ガバナー様の講話を聞ける様、簡単ですが、本日の会長挨拶とさせて頂きます。

本日のメインプログラム

諸岡ガバナー公式訪問

2019-20 年度 RI2790 地区　ガバナー公式訪問例会
卓話　：　国際ロータリーの現在とこれから

本年度当地区ガバナーを務めます　諸岡　靖彦（成田ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ）です。本日は国際ﾛｰﾀﾘｰの現況と、来年 10 月に 100 周年を迎えます日本のﾛｰﾀﾘｰの実情についてご報告する同時に、私のﾛｰﾀﾘｰに対する考え方を中心にお話しさせていただきます。
ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ（RC）は、その会員であるﾛｰﾀﾘｱﾝによって構成され、一方、国際ﾛｰﾀﾘｰ（RI）は、RC によって構成されます。ﾛｰﾀﾘｰの創設者 P.Harris(1868~1947) は資本主義社会の勃興期の、商業道徳が忘れられてしまった 1905 年に、米国シカゴの街に信頼と友情の仲間を増やしたいという趣旨で RC を創りました。親睦と相互扶助が初期の目的でしたが、奉仕という目的を加えることによって全米に拡がり、国境を超え、今では 200 以上の国と地域に、ｸﾗﾌﾞ数 3 万 6 千、会員 120 万人を数える世界有数の奉仕目的団体となりました。こうした世界中のｸﾗﾌﾞの連合体を RI と称しています。ﾛｰﾀﾘｰは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりで、世界に目を開いて幅広い奉仕活動を国際社会に、地域社会に展開しています。
このようにﾛｰﾀﾘｰは奉仕という基本目標の下に、世界中に会員基盤を有し、ｸﾗﾌﾞを、地域を、世界をﾘｰﾄﾞしています。ﾛｰﾀﾘｰの活動を確固たるものにしてゆくためには、一人一人のﾛｰﾀﾘｱﾝがﾛｰﾀﾘｰを熟知して、私たちが所属するｸﾗﾌﾞをより効果的なｸﾗﾌﾞに成長させることが大切です。ｸﾗﾌﾞを構成する一人一人のﾛｰﾀﾘｱﾝがﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟを身につけ、会員組織を強くして、社会が必要とする奉仕活動を継続させてゆくことがﾛｰﾀﾘｰ活動の課題です。
本年度 RI の Mark　D.　Maloney 会長は、ここ 20 年間の会員総数が 120 万人のﾚﾍﾞﾙで推移していることを停滞と断じました。情報化と交通手段の格段の進展がｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化を進め、世界の動きがより早く、狭くなっています。他方で地域紛争が長く尾を引き、経済や通商分野には対立と分断が進み、世界中がﾊﾞﾗﾝｽ感覚を失っています。「あと少し」に迫ったﾎﾟﾘｵ根絶にも、時間とｶﾈがまだ掛かりそうです。マローニー会長は、かつてないほど分断化された世界に繋がりを取り戻すこ

とができるのはﾛｰﾀﾘｰであると断言します。ﾛｰﾀﾘｰはより健康的で、平和で、持続可能な世界に向けた国連とのｺﾐｯﾄﾒﾝﾄを有し、他の組織には見られない平和と相互理解という精神の下に世界中の人々が繋がることが出来、目標に向かって意義ある行動を起こすことの出来るｲﾝﾌﾗを有しています。今こそﾛｰﾀﾘｰの出番です。ﾛｰﾀﾘｰの組織としての勢いを回復させ、地域社会や家庭、職域に新しいつながりを創り、世界をつなぐことがﾛｰﾀﾘｰの使命です。こうした背景から、マローニー会長は『ロータリーは世界をつなぐ』ROTARY CONNECTS THE WORLD　のﾃｰﾏを打ち出されました。

私はマローニー会長のﾃｰﾏを受けて、「ﾛｰﾀﾘｰから千葉を元気に」のｽﾛｰｶﾞﾝを掲げました。千葉を元気にするためには地区内ｸﾗﾌﾞが元気にならなければなりません。私の使命はｸﾗﾌﾞを鼓舞し、ｸﾗﾌﾞを元気にすることです。地区組織の総力を挙げて、ｸﾗﾌﾞを元気にします。

さて、ご参集のﾛｰﾀﾘｱﾝの皆様に投げかけてみたい話題があります。皆様ご自身にとってﾛｰﾀﾘｰの魅力とは何でしょう、ﾛｰﾀﾘｰを続けている理由は何だとお思いになるでしょうか?来年 10 月に日本にﾛｰﾀﾘｰが生まれて 100 周年を迎えます。「日本のﾛｰﾀﾘｰ 100 周年実行委員会」が一昨年全国の RC に対して意識調査を行いました。この中に日本人ﾛｰﾀﾘｱﾝの意識を探ることができます。（この詳細は「ﾛｰﾀﾘｰの友」2017 年 11 月号に掲載）

上位 6 番目までの理由を拾ってみますと　①異業種交流ができる　②生涯の友人・仲間ができる　③自己研さんと学習・成長の機会　④例会が楽しい　⑤奉仕活動ができる　⑥心からの親睦が得られる…となっています。奉仕活動への期待よりも、他人との関わりを大切にしている、という結果でした。皆様の場合はいかがでしょうか?

私の考え方ですが、「出会いの妙」、それがﾛｰﾀﾘｰの魅力の第一です。2010-11 年度にｸﾗﾌﾞ会長を務め、その後地区へ出るようになってから、殊に多様な地区ﾛｰﾀﾘｱﾝとの交流が楽しみになりました。GND、GN 、GE　と年々立場がｶﾞﾊﾞﾅｰに近づくにつれて、ｼﾆｱ･ﾘｰﾀﾞｰといわれる方々や PDG と接する機会が増えて、様々な人間像、彼らの奉仕活動の体験談、立ち居振舞い、ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟのあり方を垣間見てきました。ﾛｰﾀﾘｱﾝは対等です。ﾛｰﾀﾘｰの会合では、公式、非公式に関わらず対面すればどんな著名な方とでも対等なお付合い、お話を交わすことができます。「ﾛｰﾀﾘｰに No!　は無い」とよく言いますが、回ってきた役目はお受けするのが良いと思います。ﾛｰﾀﾘｰを学び、自分の世界を広げるﾁｬﾝｽだと思うべきです。苦手な分野であっても、ﾎﾟｼﾞﾃｨﾌﾞに受け取るべきです。不安な気持ちが準備を進め、問題意識を高めます。例会や奉仕活動では、意識して年代の違う会員、職業分類の全く違う会員との交流が視野を広げ、感性を刺激します。RI の青少年ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑは年齢層によって設定が変わりますが、IAC, 青少年交換、RYLA、RAC に参加しますと、ﾛｰﾀﾘｰﾌｧﾐﾘｰの幅の広さと若い力に教えられます。ものの見方、考え方そして何よりもﾛｰﾀﾘｰ観が養われます。このほかにもﾛｰﾀﾘｰの世界的ﾈｯﾄﾜｰｸの凄さ、R 財団や米山奨学会の資金力は奉仕活動にとって、大きな原動力であり、その事業に惚れこめば健全で素直な寄付協力に近づけると思います。

ﾛｰﾀﾘｰの全体像を絵にして表現すると、どんなことになるでしょうか!『ﾛｰﾀﾘｰの樹』をご覧ください。青木貞雄ｶﾞﾊﾞﾅｰ年度の 2016 年の地区大会に RI 会長代理で当地区に派遣された渡辺好政 PDG が RI 理事をお務めの 2006 - 07 年度の頃に持論を展開したというのがこの図表です。樹を育て、森を創る発想は日本人の自然観によく嵌ります。森を征服して街を切り拓くという西欧人の感性との差が見て取れます。土壌（中核的価値観）があって、根（R の理念）があるから幹（R の目的）は育ち、幹を太らせれば枝葉（五大奉仕活動や 6 つの重点分野）が広がり、陽光を浴びて果実（R 財団）が実り、全体景観としての R の公共イメージが向上する…というものです。

この『R の樹』から様々なｲﾝｽﾋﾟﾚｰｼｮﾝが生まれます。ﾛｰﾀﾘｰｱﾝは「個」からｽﾀｰﾄして自学（楽）自習して、個のﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟを養います。樹を大きく育ててゆくには高潔性という土壌が特に大切です。ﾛｰﾀﾘｰがﾛｰﾀﾘｰであるためには、職業倫理に従って得た経済力が個人の奉仕活動の原動力になるからです。「ｸﾗﾌﾞ」が地域社会に働きかける要件として、ｸﾗﾌﾞが元気でなければ地域に対して健全な提案やﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟが発揮できません。会員基盤を多様化させて、ｸﾗﾌﾞを持続的に盛り上げてゆくことが大切です。ｸﾗﾌﾞの活動計画は奉仕活動も親睦も絆を創るための相互の存在と役割を認め合って、ﾀﾃﾜﾘの活動だけではなく、上位の目的を共有し合うヨコワリのｸﾛｽ・ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝを意識して動かなければなりません。この樹を持続的に、いかに強く育てるかは、戦略計画の課題です。樹を育て、森を如何に創ってゆくかはｸﾗﾌﾞ会員全体の総意に関わります。全会員の討議で森を創るビジョンを構想してください。ﾋﾞｼﾞｮﾝができたら毎月の、毎年の作業計画を創って、実行してください。半月後、1 年後の実行チェックは欠かすことのできない、次のステップに向かう大事な振返りです。こうして樹が育てばﾛｰﾀﾘｰの活動はますます意義深くなり、楽しくなることでしょう。

ところで、世界のﾛｰﾀﾘｰと日本のﾛｰﾀﾘｰにはｷﾞｬｯﾌﾟが生じている、ということをお聞きになっていませんか?日本のﾛｰﾀﾘｱﾝが重視する職業奉仕（実は、日本人ﾛｰﾀﾘｱﾝがこだわっているのは職業「倫理」のようです）は、世界中の何処へ行っても通じないというのです。職業奉仕とは職業上持ち得た専門知識や技能を生かして社会奉仕に貢献することだと、世界は考えているようです。職業奉仕を特別なﾛｰﾀﾘｰを動かす土台としては考えていないのです。先の規定審議会で RAC を RI の会員として認める件や、例会の欠席補填 (ﾒｰｸｱｯﾌﾟ) を当年度以内とする緩和決定には驚きました。しかしこの狭い日本列島で 2000 年もの永い間、自然神信仰 (神道)、仏教、儒教を自生的に「餅をこねるように」創り、武士道や商人道に形成し、実践してきた日本人の思想の風土を考えれば、職業奉仕の重視というｽﾀﾝｽは軽率なﾎﾟﾋﾟｭﾘｽﾞﾑよりは遥かに重いものです。日本のﾛｰﾀﾘｰがｶﾞﾗﾊﾟｺﾞｽとか、周回遅れで走っているという評価はいただけるものではありません。来年に迫った日本のﾛｰﾀﾘｰ 100 周年では、ﾛｰﾀﾘｰという米国建国期ﾋﾟｭｰﾘﾀﾝの思想潮流を、日本人の風土、文化になじむよう取り入れてきた社会運動として正しく評価されるべきものだと思います。如何でしょうか。

さて、これからのﾛｰﾀﾘｰの方向はどうなるのでしょうか? 5 月から日本の元号が「令和」と改元されました。明治以降の大正、昭和、平成の 150 年はおよそ 30 年ごとに登り坂と降り坂を交互に経験してきました。平成の 30 年間の日本は、ﾊﾞﾌﾞﾙの崩壊以後世界同時不況、大震災や自然災害がつづいて、降り坂の 30 年でした。外に目を向ける産業分野もありましたが、大多数の内向きな日本人は「井の中の蛙」と化しました。政府は内需を高めるために躍起になって財政出動しますが、国の借金が膨らむだけでした。人件費の上昇以上には生産性が目立って改善するわけではなく、低成長（時にはﾏｲﾅｽ成長）がつづいています。

令和の時代には、もっと大らかに、日本人が持つ相手に心を寄せる優しさが発揮される時代になって欲しいと思います。そして日本人がもっと国際社会に出て、世界に貢献でき期待したいと思います。そのためには、ﾛｰﾀﾘｰと同じように、日本人は明確な国家戦略をもつことが必要です。先ごろ経済同友会が発表した『危機感なき茹でガエル日本――過去の延長線上に未来はない――』の、日本再生の処方箋をご紹介します。三次元の図表で表わせば、X 軸=経済の豊かさの実現、

Y 軸=ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝによる未来の開拓、Z 軸=社会の持続可能性の確保、という社会の、近視眼ではない 30 年、50 年後を見通した構想を基本として、そこに到る道筋を考えなければならない、ということです。令和の時代を、「敗北と挫折」の平成の 30 年の延長と思うのではなく、危機感を持って、日本人の繊細な感性を生かせる健康長寿、地球環境、持続可能性を構築する分野などで世界のﾄｯﾌﾟを目指すべきです。

1 月のサンディエゴの RI 国際協議会で、GE として GETS に参加したとき、会場の入り口に掲げられていた標語は　Join Leaders ,Exchange Ideas ,Take Action !　　…　「リーダーを集め、意見を交換し、行動に移せ!」でした。かつてのそれは、Enter　to Learn ,Go Forth to Serve!　　…　「入りて学び、出でて奉仕せよ」でした。標語が変わったことの意味する所は、RI が戦略計画を構築するための姿勢を示しているものであると理解します。ﾘｰﾀﾞｰを集めて、意見を交換して、そして行動する、ということです。これが RI のこれからの行き方です。

以上で「RI の現在とこれから」というお話を終わらせていただきます。ご清聴、ありがとうございました。

■ニコニコ・ソーリー

奉仕ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ委員会 ** 市原中央高校ｲﾝﾀｰｱｸﾄｸﾗﾌﾞの活動「ユニクロ服のﾁｶﾗﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ」につき、ご協力を頂きありがとうございました。明日高校に持って行きます。又 11/27（水）～ 12/5（木）に、PJ の交換学生が来日されます。こちらもご協力をお願いする事になりますが、よろしくお願い致します。

小池会員 ** 諸岡ｶﾞﾊﾞﾅｰ・堀口幹事長　そして地区ｶﾞﾊﾞﾅｰ補佐の時田様本日は大変ご苦労様です。ガバナーには大変有意義なお卓話を頂き誠にありがとうございました。今後のご活躍を祈念申し上げます。

白鳥会員 ** 諸岡ガバナーようこそ市原ﾛｰﾀﾘｸﾗﾌﾞへお越しいただきありがとうございます。これからもお元気で活躍されます事を祈っております。

篠田会長・福原幹事 ** 本日は諸岡ガバナー・時田ｶﾞﾊﾞﾅｰ補佐・堀口地区幹事長　ありがとうございました。新入会員山路さん、大槻さんこれから仲良くロータリーを楽しみましょう。

■出席報告　　前々回確定 66.03%　本日出席 35 名
　　欠席 21 名　本日出席率 65.30%

■点　　鐘　篠田会長

■ＳＡＡ　　司会の宮武会員

■委員会報告

クラブ管理運営委員会　木下会員より

１２月１８日に親睦忘年夜例会を実施致します。

一人一品ニコニコオークションに提出する物を持参お願い致します。

奉仕プロジェクト委員会　野口委員長より

「ユニクロ服のプロジェクト」

ご協力を頂きありがとうございました。

11/27～12/5 の日程にて

ＰＪ交換学生の受け入れプロジェクトの

ご協力をお願い申し上げます。

ＶＯＮＤＳ市原　永野会員より

９月 29 日に行われた決起会の報告と

昇格をかけた鹿児島遠征へのご支援について

新入会員　株式会社山路の山路様

新入会員株式会社エアーズの大槻　様

市原ＲＣの会員になりました。
宜しくお願い致します。

いちはらアート×ミックス高橋課長より
房総里山芸術祭について

諸岡ガバナーより　ご挨拶

100 周年記念ゴングにて点鐘